

3月のイベントカレンダー

1	金	
2	土	
3	日	休館日
4	月	休館日
5	火	13:30 日本語サロン
6	水	
7	木	
8	金	ノースカロライナ大学シャーロット校学生ホームスティ受入れ(～10日)
9	土	
10	日	10:00 子ども日本語ひろば 10:00 語学ボランティア研修会
11	月	休館日
12	火	13:30 日本語サロン
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	休館日
18	月	休館日
19	火	13:30 日本語サロン 18:30 幹事会
20	水	
21	木	休館日
22	金	15:00 理事会
23	土	
24	日	10:00 子ども日本語ひろば 15:00 会員交流会 ※13:00～臨時閉館
25	月	休館日
26	火	13:30 日本語サロン
27	水	
28	木	18:30 日本語ボランティア打合せ
29	金	10:00 日本語ボランティア打合せ
30	土	13:30 FINE発送作業
31	日	

会津若松市国際交流協会
〒965-0871 会津若松市栄町2-14
レオクラブガーデンスクエア5階
TEL 0242-27-3703 FAX 0242-27-3704
ホームページhttp://awia.jp Email: mail@awia.jp

「若松コロニー」150周年記念 会津訪米団のご案内

入植150周年！記念すべき節目の年に、会津から日本人女性として初めて渡米した「おけいさん」の墓参と合わせ、同郷人として、苦難の時代を過ごした当時を偲び、先駆者たちの勇気と開拓者精神に思いを馳せ、会津の歴史に触れるまたとない機会です。
主 催 「若松コロニー」150周年記念会津訪米団実行委員会
日 程 6月7日(金)～6月12日(水) 6日間
旅行代金 お1人320,000円／2名1室利用・エコノミークラス利用
募集定員 35名 申込締切 3月29日(金)
申込・問合せ 昭和観光株式会社 TEL 0242-25-2525
(担当／久保田・渡辺)

7日(金)	会津若松駅ー成田空港ーサンフランシスコ空港
8日(土)	サクラメント観光ーWakamatsuFest150参加
9日(日)	WakamatsuFest150参加ーサンフランシスコ観光
10日(月)	終日サンフランシスコ観光
11日(火)	サンフランシスコ空港発
12日(水)	成田空港ー会津若松駅

★「ご協賛のお願い」★

戊辰150年、若松コロニー150年の記念として、おけいさんの記念碑をゴールドヒルの若松コロニー内に建立することとなりました！
つきましては趣旨をご理解いただき、ご協賛をお願い致します。

1. 協賛金額 一口 2,000円
2. 募集期間 4月30日まで
3. 振込先 東邦銀行会津支店 普通預金 口座番号:2487383
口座名義:若松コロニー150周年記念会津訪米団
事務局長 目黒督朗

※なお、太郎庵各店舗においても協賛金の受付を行っております。
問合せ:「若松コロニー150周年記念会津訪米団」
事務局長 目黒督朗 TEL 0242-83-3267
Mail: taroan@taroan.co.jp

ホストファミリー募集

オーストラリアクイーンズランド州出身の留学生17才(男子高校生)のホームスティをお引き受けくださるご家庭を引き続き募集しています。日本語を話せます。
楽しく国際交流してみませんか？
期 間 3月23日(土)～翌年2月上旬
※1ヶ月でも、何か月でも歓迎致します。
問合せ 公益財団法人AFS日本協会 福島支部
支部長 近内 成子 さん TEL 090-6252-0265

情報誌発送お手伝いのお願い

情報紙「FINE」「JTF」「窓」の発送作業を、おしゃべりしながらお手伝いをしてみませんか。
当日直接協会へお越しください(申込不要)。
日 時 3月30日(土) 13:30～

FINE

Freedom/International/Necessity/Experience

会員交流会

3月24日
(日)

交流会

時 間 15:00～17:00
場 所 勤労青少年ホーム
参加費 会員100円、非会員200円
※ささやかな景品を用意します。
申込み 前日まで当協会へ
持ち物 上履き



懇親会

時 間 17:30～19:00
場 所 蕎麦 香寿庵(駐車場あり)
参加費 一般 3,500円／学生 3,000円
申込み 3月22日(金)まで当協会へ
※23日以降のキャンセルは参加費をいただきます。ご不明な点はお問い合わせください。

※3月24日(日)は、13:00から当協会事務所を臨時閉館いたします。

春期 日本語会話教室

あなたのそばに日本語を思うように話せない人はいませんか？

当協会の経験豊富な日本語ボランティアが ていねいに指導します。ご近所やお知り合いに日本語を習いたいという外国出身の方がいらっしゃいましたらご紹介ください。英語、中国語、韓国語のちらしも用意しています。

日 時
★【夜間コース】毎週木曜日(全12回)
4月4日～6月27日 18:30～20:00
*5月2日は休み
★【午前コース】毎週金曜日(全12回)
4月5日～6月28日 10:00～11:30
*5月3日は休み

場 所 会津稽古堂
内 容 日本語の文法と会話を中心に、レベル別にグループで学習します。
受講料 会員 4,000円 会員外 6,000円
申込み 3月27日(水)まで当協会へ。
※初めて参加される方は、グループ分けをするための簡単なレベルチェックを行います。

《日本語ボランティアの方へ》

春期日本語会話教室の開講に先立ち、事前打合せを行います。場所につきましては協会までお問合せください。
夜間コースは3月28日(木)18:30から、午前コースは3月29日(金)10:00から行います。

語学ボランティア研修会

第二回目の飯盛山の英語ガイドの勉強会を行います。

日時 3月10日(日) 10:00～11:30
場所 会津稽古堂3階 研修室1
対象 外国語を使ったボランティア活動に興味のある方。(学生も可)
担当 当協会語学ボランティア
申込 3月9日(土)までに当協会へ



わたしのお国日和



Yaqub Mahmoud ヤコブ マハムド さん



ナイジェリア出身のヤコブさんは、昨年の9月に留学生として会津に。現在は日本語サロンで、日本語や日本文化を熱心に学んでいます。

ナイジェリアは西アフリカに位置します。面積は日本の2倍で、北はサハラ砂漠、南は大西洋と接しています。「Nigeria」という名前は、「Niger」と「area」が、合わさったことばです。「Niger」はナイジェリアを通るニジェール川をさします。もう一つの川と合流し、大西洋に注ぎ、二つの川が、国を「Y」の字の形に分けます。

ナイジェリアは熱帯のため、季節は二つしかありません。10月から4月までの乾季は、北のサハラ砂漠からの暖かい風の影響を受け、気温が高く、湿度が低くなります。残りの5ヶ月は雨季で、雨は南から北の方へ進み、5月から7月がもっとも降ります。ナイジェリアを訪ねるなら、また国立公園に行くなら、乾季がおすすめです。植物は乾燥し、動物が水場に集まり、野生の生き物が多く見られる時期です。

ナイジェリアの人口は1.8億で、アフリカでは1番、世界でも7番目に多い国です。首都は国の真ん中にあるアブジャですが、一番人口の多い都市は旧首都のラゴス(人口:2100万人)になります。ナイジェリアはアフリカで一番大きな経済力を持ち、通貨はナイラです。国旗は、外側が緑で、真ん中は白です。



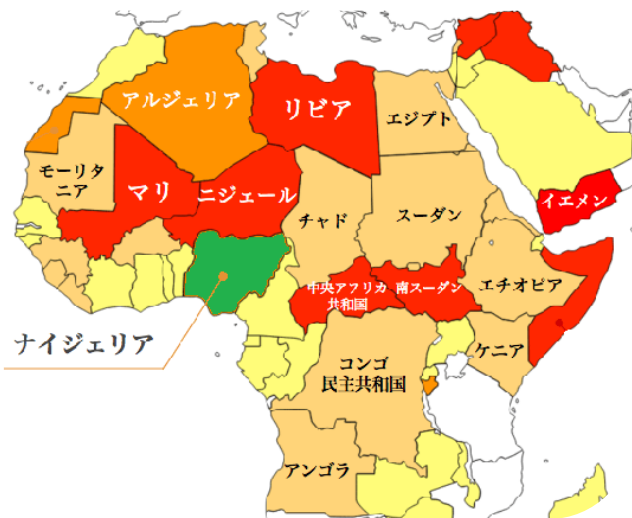
「朝ごはんの定番 アカラ」

もう一つの人気料理は、「アカラ」(黒豆で作ったコロケに似たもの)で、こちらもどこでも食べることができます。アカラは、朝ごはんの定番で、「パップ」というどろっとした飲み物(とうもろこしから作る)と一緒に食べます。夜は「アマラ」や「トゥオ」という米やキャッサバ粉をすりつぶしたものを、魚や牛肉のスープと一緒によく食べます。

ナイジェリア人の好きなもう一つの食べ物は、「プランテン」というバナナの一種です。「プランテン」は、揚げたり、肉と煮込んだり、焼いたり、お菓子として食べます。ナイジェリア料理は一般的に辛く、色あざやかで、香ばしいものが多いです。東アジアや日本でもナイジェリア料理を提供するアフリカンレストランがあります。ナイジェリアに行く機会がありましたら、ぜひいろいろな料理を試してみてください。おいしく魅力的な料理は、きっとあなたを笑顔にしてくれるはずです。



「ジョロフ ライス」



ナイジェリアは19世紀後半から1960年に独立するまで、英国の植民地でした。そのため英語が公用語となり、教育、社会、公式の場などで使用されています。しかし国内では500以上の現地語が話されています。ことばの多様性ととも、食べ物も多様性に富んでいます。

さまざまな民族や文化があるため、国を代表する料理をひとつに絞るのは難しいです。地方の風習や伝統によりさまざまな料理があります。一番人気の食べ物で、すぐに思い浮かぶのは「ジョロフ ライス」です。「ジョロフ ライス」(ピラフに似ている)は、日本の米と違い粘り気はなく、結婚式や祝日などの定番料理です。

幹事の深い話

Takako Obara 小原 孝子 さん



日本語ボランティアとして、また幹事として協会のために多方面で長年活躍され、日々楽しく学習者と触れ合っています。

日本語ボランティアとして協会に首を突っ込んだのは約20年前。いろいろな出会いがありました。

一緒に日本語を学んだ仲間達(おこがましくも「生徒」とは言えません)が、今では世界各地に帰ったり、日本で就職したり、と協会を去った人達は沢山いますが、決して「去る者は日々に疎し」ではありません。

東日本大震災時はもちろんのこと、昨年私事に不幸があった時は、同じクラスだった友達を誘い合って、いち早く駆けつけて抱きしめてくれ、一緒に涙を流してくれました。また、ある学習者は、日本再訪の折には、忙しい合間を縫って、「懐かしいから」と会津若松まで足を運んでくれたり、遠く外国から「元氣ですか」のメールをくれる学習者もいます。初めはたどたどしかった日本語も、一年も経つととても上手になり、大きい動物の助数詞「頭」も難なく使いこなし、どこで上達したのか聞いてみると「友達です。」の返事。察するにどうもガールフレンドらしく、会津での生活を満喫し、今は慶応大学



VOL.37

若林 美代の 旅はいつも幸せ気分

でこぼこ山道を車にゆられて2日がかかりで到着したインドの「秘境」ザンスカール。着いた翌日、ホームスティ先のティンレイさんから「近くの村の結婚式に一緒に行きませんか？」とのお誘いがあり、願ってもない機会なので、昼頃に一家(夫妻と娘、0才児の孫)と共に娘婿の運転する車(彼はタクシードライバー)に乗りこんで出発！大きな川を渡って、少し高台にある見晴らしのよい村に着くと、一軒の家にどんどん人が集まっています。ここは花嫁の実家で、客間の中央に座っているのは花嫁だけ。脇には坊さんたちもいて、お客がぎっしり。厚手ウールの民族服を着た若い男性が2人、結婚祝いの品(鍋や食器、布などの生活用品が多い)を披露しては「誰それさんからの贈り物～」というような口上をのべ、そのたびにカタ(儀礼用の白いスカーフで、高僧との謁見やお祝い、別れの挨拶などに、相手の首にかける)を花嫁の首にかけていきます。

白い布でグルグル巻きにされて巨大化した花嫁は、何を着ているかも分からず顔もよく見えません。そして、ずっ〜と泣きわめいています。結婚して家を出ると、育った家の精霊と別れなければならないので、それを悲しんで盛大に泣くのが「お約束」なのとか。御祝儀としてお金を渡す人もいて、だいたい200ルピー(約350円)が相場のようなのでした。

時々、ご馳走が運ばれてきますが、この家の台所で作って

で研究助手になっているとのこと。我が子のこのように嬉しくなります。

20年もの間には、日本に残った学習者も沢山いますが、それぞれの国へ帰った人達も大勢います。世界地図を見ると、その国々の学習者達が目に浮かび、結婚したか、子供は大きくなったか、幸せに暮らしているか等々、つい「親」になってしまいます。

学習者のバックグラウンドもまさに千差万別で、私のように高校のあとは大学かとなんの目的もないまま、親の苦勞も解せず、大学で勉学に励むでもなく遊ぶでもなく、ただ漫然と過ごしてきた人間とは大違いで、皆さんそれぞれ自分の人生を真摯に生きてこられた、また人生を送っている姿には恥じ入るばかりです。が、これからも変わらずに日本語を学ぼうとしている皆さんのお役に立てれば、と思っております。

いるらしい「モモ」(餃子)、焼きそば、チャパティ、カレーなど、ふだんの料理と同じようなものがほとんど。

てんでバラバラに食べて、まわりの人たちと喋って、チャン(大麦のドブロック)を飲んで、ゆるゆると過ごします。夕方近くになるとさらに客が増え、一同は庭の巨大なテントに移動。楽士たちも来ました。ここではもっぱら、大きな容器に入った自家製チャンをプラスチックの水さしですくっては、美しく着飾った花嫁の友人たちや、ティンレイ夫人までもが、一同にすすめて回ります。アルコール分はビール以下なのですが、ティンレイ夫人は民族服の懷から「マイ盃」をとり出し、皆にすすめながら、ぐいぐい飲んでいきます。暗くなる頃、花嫁が退場するので、やっと花婿の家に向かう(そしてまだまだ結婚式は続く)のかと思ったら、まだ外で花嫁を囲んで楽士たちが踊りはじめました。

結局、ティンレイさんの家に帰ったのは夜の9時頃... このカップルが出会ったのは「ネットで」とティンレイさんがひと言。お見合いも一妻多夫婚(兄弟で一人の妻を娶った)もはるか昔！の「秘境」でした。マイ盃で



ぐいぐい飲みながら、会場を回って酒をすすめまくる「お母さん」(ティンレイ夫人)